

2021年10月

ホワイトペーパー

ハイブリッドワーク スペースの整理

チームのデバイスを整理、
統合して生産性を高めます。



作成：

RECON
RESEARCH

提供：

logicool

This document has been translated from English into Japanese by Welocalize. Although this translation was conducted with Recon Research's approval, Recon Research has not verified and is not responsible for the accuracy of the translation.

この文書は、Welocalizeによって英語から日本語に翻訳されています。この翻訳はRecon Researchの承認を得て行われていますが、Recon Researchは翻訳の正確性について検証しておらず、責任を負いません。

新しい働き方

かつて、典型的な情報系の従業員は、オフィスという1つの場所で仕事をしていました。ほぼ全員が毎日オフィスに出勤し、各人が常設のデスクや個人用オフィスを持っていました。

当然、全員に自分専用のワークスペースを与えるにはコストがかかります。また、各従業員にオフィスやデスクを用意するということは不動産の面でも負担になります。

しかし、その働き方が常識であり、自分のためのスペースがあることが、企業の一員であることの証明でした。そして何よりも、この状況が従業員にも企業にも受け入れられていたのです。

もちろん、「オフィスで仕事をする」というルールには例外もありました。たとえば、

- 企業によっては、週に数日だけ在宅で仕事をする人もいました。しかし、その人たちはオフィスにもまだワークスペースを持っていました。
- 個人的な問題や緊急事態に対処するために、1日か2日、在宅で仕事をする場合もありました。しかし、これらは短期的な措置でした。在宅勤務する場合、数日間はその人の仕事量が減るものだと、みんなが理解していました。
- 一部の先進的な企業では、一握りの優秀な従業員にフルタイムでの在宅勤務を認めていました。しかし、実際に在宅勤務制度を導入したり、ホームオフィステクノロジーに戦略的に投資したりするほどの人数ではありませんでした。

しかし、それは昔の話で今は状況が違っています。

今日では、本来の量の仕事がオフィスでも自宅でも行われています。そして、従業員はどこで仕事をしていても、十分な生産性を発揮することが求められています。

ハイブリッドワークの最大の魅力は、業務を遂行している限り、好きな場所で（場合によっては、好きなときに、好きな方法で、好きなツールを使って）仕事をするということです。

そして、それは従業員にとっても企業にとっても意味のあることです。

個人用ワークスペース

多くのハイブリッドワーカーにとって、ノート PC は生命線と言えます。自宅でもオフィスでも、仕事はノート PC を開いたときに始まります。

しかし、場所を選ばずに、自由度の高い働き方をする情報系の従業員であっても、実際に仕事をするためには、机やテーブルの上にノート PC を置くだけでは不十分です。

まず、快適な椅子、十分なデスクスペース、適切な照明など、適切なワークスペースが必要です。

次に、ノート PC に関連する多くの問題点（画面が小さい、キーボードが窮屈、マイクやスピーカー、カメラの性能があまり高くない、トラックパッドやポインターが使いづらいなど）を解決するために、適切なビジネステクノロジーが必要となります。

今日の在宅およびオフィスで働く従業員は、外付けディスプレイ、外付けキーボードとマウス、有線またはワイヤレスのヘッドセット、USB ウェブカメラ、USB スピーカーフォン、高音質なスピーカー、モバイルデバイス用充電器など、さまざまなビジネステクノロジーを活用しています。

では、問題になるのはどの部分でしょうか？

狭いスペースに多くのデバイス、ケーブル、コネクタ、アダプター、 dongle、電源などがあると、テクノロジーの渋滞が起きてしまいます。それによって、従業員は気が散りやすくなり、創造性に影響が出て、快適な勤務環境とは言えなくなってしまいます。



また、接続するデバイスが多いと、ノート PC から外するのが面倒で時間もかかります。

テクノロジーの獣を飼いならす

何十年もの間、従業員はこの問題を解決するために「ドック」を利用してきました。一般的に、ノート PC のドックには 3 つのタイプがあります。

ドッキングステーション – ノート PC を機械的および電気的に接続し、広帯域ビデオポートを含む多くの接続ポートがある独自のデバイスです。また、ケーブル管理の問題を解決し、すっきりしたワークスペースを実現できます。



しかし、ドッキングステーションは見た目が古くさく、一般的には特定のベンダー専用で作られており、ノート PC の特定のモデル専用のものがほとんどです。そして時が経つにつれ、多くのベンダーは独自のドッキングステーションからユニバーサルドックへと移行してきています（下記参照）。

ブリックドック - そのレンガのような形から名付けられたこのドックは、USB 3 ケーブル（これによって幅広いノート PC に対応）または独自の接続方法でノート PC と接続します。



ブリックドックにはさまざまな構成のものがあり、通常多くのポートを備えており、ノート PC に電力を供給できるものもあります。

しかし、ブリックドックは比較的高価で、実用的なデザインを採用していることが多く、ノート PC で利用可能な有線接続（USB、HDMI など）を拡張する以外のメリットがありません。

ドングルドック - ブリックドックと同様に、さまざまな構成のデバイスがあります。しかし、このタイプのドックは、ブリックドックよりも小型で、持ち運びができ、価格も手頃です。

ドングルドックには、特定のノート PC 用に設計されたもの（右の画像を参照）と、標準 USB 接続でほとんどのノート PC に使用できるものがあります。



しかし、ドングルドックは持ち運びに最適化されているため、ケーブルの煩雑さを解消するどころか、むしろ悪化させることもあります。

どのドックタイプにもそれぞれ、パーソナルワークスペースで使うときの利点があります。ですが、どのタイプにも、根本的な共通の欠点があります。それは、これらが単なるドックに過ぎないということです。ケーブル管理に役立ち、接続ポートを増やすことができますが、それ以外のメリットはありません。

従来型のドックにはどれも、根本的な共通の欠点があります。それは、これらが単なるドックに過ぎないということです。それ以上でもそれ以下でもありません。

具体的には、ユーザーのデスクからデバイスをなくしたり、ユーザーのワークフローを簡素化したり、多くの企業が望んでいるモニタリングや管理機能を提供したりするものではありません。

注目のソリューション

本研究のスポンサーであるロジクールは、他のノート PC 用ドックソリューションの欠点の多くを克服した一体型ドッキングステーション「Logi Dock」を提供しています。

まず、Logi Dock はその名の通り、豊富なポートを備えた高性能なノート PC 用ドッキングステーションです。Logi Dock には DisplayPort 機能が内蔵されているため、ノート PC との接続は USB-C 1 つで済みます。

しかし、一般的なブリックドックとは異なり、Logi Dock は魅力的で近代的な外観を有し（下の画像を参照）、目の肥えたユーザーの自宅やオフィスのデスクにもぴったりです。



Logi Dock - 前面（左）と背面（右）

次に、Logi Dock には、6 本のビームフォーミングマイクアレイ、および電話会議と音楽再生両方に適した高性能スピーカーを備えたスピーカーフォンを内蔵しています。これにより、スピーカーフォンを外付けするコストや設置スペースが不要になります。また、Logi Dock は Bluetooth®に対応しているため、内蔵スピーカーフォンを携帯電話やタブレットでも使用できます。

Logi Dock は、ロジクール製ヘッドセットとのネイティブ接続（ペアリング）が可能のため、USB ポートを他のデバイス（ウェブカメラなど）に使用することができます。¹

さらに、Logi Dock は、ノート PC（PC または Mac）やモバイルデバイスに電力を供給でき、ノート PC の電源アダプターや携帯電話の充電器が不要になります。

しかし、Logi Dock はそれにとどまりません。さらに、ユーザーに以下のようなメリットを提供します。

- 音声ミュート、ビデオミュート、音量アップ/ダウン、ワンタッチでの会議参加のためのソフトボタン
- ビデオと音声のミュートステータスと通話ステータスを示す LED インジケーターとアンビエントライト

- 内蔵スピーカーフォンとヘッドセットの自動切り替え¹
- Logi Tune ソフトウェアを使用したカレンダー連携により、ワンタッチで会議に参加でき、ユーザーはデバイスを最新の状態に保ちやすくなります
- ロジクール Sync を使用したエンタープライズデバイス管理により、IT 管理者は大規模に導入されたデバイスをリモートで監視し、管理（ファームウェア更新の導入など）できます。

結論

情報系の従業員のデスクの上には電子デバイスが多すぎて、気が散る原因となり、混乱を引き起こすことがあります。現在、多くのノート PC 用ドックソリューションが販売されていますが、それらのメリットは通常、ケーブルの整理や接続ポートの追加に限られています。

Logi Dock は、従来のドックソリューションの限界を超えた次世代のユニバーサルドックであり、ユーザーはワークスペースを整理でき、一般的に使われているデバイスの一部が不要になり、ワークフローを改善できます。

ロジクールについて



（下記の情報はロジクール提供）

株式会社ロジクールは、スイス連邦のローザンヌに本社を置く、人々にデジタルエクスペリエンスを提供する世界的なリーディング企業、Logitech International が 100%出資する日本法人です。さまざまなプラットフォームに対応する多彩なハードウェアとソフトウェアを通じて、デジタル機器を使った生活をより快適なものにします。コンピュータのコントロール製品をはじめとして、ミュージックやビデオ、ゲーミングなど多岐にわたる製品やサービスを、35 年以上にわたって提供しています。

ロジクールのビデオコラボレーションの目標は、品質を犠牲にすることなく、すべての企業とすべての個人がアクセスできるビデオ会議ソリューションを手頃な価格で提供することです。すべての会議室、ワークスペース、自宅でビデオを活用できるようにしたいと考えています。ロジクールビデオコラボレーション製品の詳細については、<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration.html>、www.linkedin.com/showcase/logitech-video-collaboration、[@LogitechVC](https://www.linkedin.com/company/logitech) をご覧ください。

¹ 現在、ロジクール Zone Wireless (Plus) ヘッドセットとロジクール Zone True Wireless Earbuds でご利用いただけます。

Recon Research (RR) は、企業のコミュニケーション分野に焦点を当てた分析/市場調査会社です。当社は、ユニファイドコミュニケーション、ビデオ会議、コラボレーションとアイディエーション、AV ソリューション、ワイヤレスプレゼンテーションなどを対象にしています。

RR は、企業のお客様、ベンダー、チャネルパートナー、プロの投資家の方々に、事実に基づいて意思決定するために必要な情報と洞察を提供しています。

RR は、15 年以上にわたる企業ブリーフィング、市場分析、対象分野の製品およびサービスの現地テストに基づく深い知識と経験で、他社と一線を画しています。

詳しくは、www.reconres.com をご覧ください。

連絡先情報

Recon Research, Inc.
11910 レイクハウス・レーン
パークランド、フロリダ州
33076 米国

著作権通知

本ドキュメント内の情報は Recon Research, Inc.(RR) に帰属し、米国および国際著作権法によって保護されています。

商標通知

本刊行物に記載されているすべての企業、製品、サービス名は、各所有者の商号、商標または登録商標です。

画像・グラフィック

本刊行物で使用されているすべての画像とグラフィックは、RR または各所有者の厚意によって作成、所有、ライセンスされたものです。